

会 議 録

会議名 第2回国見版 CI（コーポレート・アイデンティティ）策定検討委員会
日 時 令和5年1月26日（木）14：00～15：45
出席者 委員：9名（齊藤委員長、持地委員、佐藤委員、三栗野委員、齋藤委員、阿部委員、
近久委員、上神田委員、原田委員【オンライン】）欠席1名（鈴木委員）
町 副町長、（事務局）企画調整課長、木村係長、舟山主査
傍聴：なし

概 要（グループワーク・講評）

【発表】

・Aグループ

①国見町の推し（国見のうれしいこと、たのしいこと、好きなこと）

国見町の推しについて

- 資源：人、野菜、果物、施設（観月台文化センター、道の駅国見あつかしの郷、くのみ農業ビジネス訓練所）、町の事業、自然（春夏秋冬で表情が変わる）
- 人：面倒見がいい人がとても多い。野菜のつくり方を色々な人から教わった。
- 風習：小坂地区でお遍路さんにお茶やお菓子を配る風習が残っており、伝統的で歴史が感じられる。
- 利便性：JRの駅が2カ所ある。藤田駅と貝田駅。高速道路のインターチェンジや国道4号線があるなど交通の利便性がよい。公立藤田病院が近くにあり、インフラが整っている。
- 町の事業：農業ビジネス訓練所、その卒業生が集まった「農友会」がある。

悪い点について

- 働く場所がない
- 年配者の行動が不自由：高齢者の方など、運転できないと行きたい所に行けない。
- 若い世代が集まる機会が少ない：地域の20～30代の世代が集まる機会が少ない

まとめ

- 細かく見ればいいところはあるが、これといったいいところがない。特色がない
- 悪いところもない
- 国見町の「これだ！」というものを作り上げていくことが課題

・Bグループ

②国見町のイメージ（色、言葉・フレーズ）

- 国見町をアピールできるワードとして2つに絞った。
- 「ココカラ！ 国見町。」

国見町に来て、それぞれの「あなた」のこれからが始まる。ここから始める。

○「“変わること”を変えない町」

変わることをずっと続ける。変わり続ける。

国見町は変わってくれる、変わる傾向がある町。昔と比べて、明るくなってきた、にぎわってきた印象がある。「変えることを変えない町」は推しのポイント。

色について、アンケートからは桃の色や農業に合わせた色など様々提案されていたが、基礎として、基本として「変われる町」であり、何にも染まってなくて、これからどんな色にもなれることから、ベースとして「白」を提案する。

イベントがある際、例えば、義経まつりでは、「歴史的な色」であったり、桃の時期であれば「ピンク」を混ぜるなど、「白」をベースに自分たちで好きな色に変えていく。

・Cグループ

③これからの国見町にあったら良いと思うもの

委員のアンケート結果から、大きく仕事と住居とにぎわいの3つに分けることにした。

○仕事：スタートアップ支援、アーティストインレジデンス※1、雇用の創出できる施設

※1「アーティストインレジデンス」…美術家に、一定期間特定の場所に滞在し、そこで創作活動に専念することのできる環境を提供するプログラムの総称。

○住居：他所から来た時に住む場所がないという問題があるため、

賃貸住宅や短期移住者向けの住宅、空き家を活用し、1か月程度農業体験やDIYを経験していただく ⇒ 意外と便利な国見町という魅力が伝わるのではないかと

○にぎわい：複合施設（体験施設、温泉、ショッピング など）、大人・子どもの遊び場
ふれあい動物園

この3つはつながりを持っている。

（例：仕事場ができれば住居を増やさなければならない。人が集まればにぎわいが作られ、にぎわいが新たな仕事につながっていく）

【講評】

・斉藤睦委員長

Aグループでは、国見町にはこんなに素晴らしいものが存在しており、皆さんそれを理解しているが、決定的な「国見町といえば〇〇」という点に欠けていることが重要なテーマとなった。町の良い部分がただ表面だけになり、C1が独り歩きすることになってしまう。国見町は伸びしろがある町だといえる。

Bグループについては、「『変わり続けること』を『変えない』」ことが提案された。国見町は変化していこうという志を持って、まちづくりに取り組んでいくという意味が確認できたのがよかった。だから色も「白」なんだと。

Cグループの3つの分野について、それぞれに意見が出されていて、それらがうまく連携していくと、例えば空き家の問題やそれを活用したアーティストインレジデンスの実施につなげていくことができる。アーティストインレジデンスを活用すれば、そこが新たなたまり場にな

るかもしれない。そこから新たな仕事が生まれてくるかもしれない。町の全体構造を考えながら循環していけばいいのではないかと感じられた。

国見町の良さは人口約 8,000 人という小ささにある。情報も回るし、志がある人には応援しようとする気概がある。これが「循環性」をよくしている。合併の嵐に巻き込まれずに、独立してやっていこうと決めた国見町の良さを、これから伸びしろとして伸ばしていくという意味で、その取っ掛かりとなるC Iをどのようにまとめていくか楽しみで、重要なテーマである。

・(株)パーティ・フー 石井みな子氏

今日の発表を聞いてとてもワクワクした。C Iで重要なことは、外への発信、中での情報共有など色々な役割がある。

今回、概念を変えるということで、「白」で変えていこうといった新たな意見が聞けてとてもよかった。若い委員を中心としたメンバー構成を決めた町側の包容力、皆さんの力を信じてC I策定を頑張っていきましょう。